

## 令和5年度第78回入学式式辞

校庭の木々の緑が鮮やかさを増し、暖かい春の陽射しが感じられる今日の佳き日に、大阪府立四條畷高等学校第78回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びでございます。

PTA会長白井様をはじめ、ご来賓のPTA役員の皆さまには、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今入学の告示を行いました360名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

皆さんの学年は、中学校3年間を通じて新型コロナウイルスの感染拡大により授業や行事、部活動が大きく制限された学年でした。そのなかで、懸命に学び、難関を突破して本校への入学を果たした皆さんを誇りに思います。

本校は、1903（明治36）年、旧制四條畷中学校としてこの地に生まれ、今年で創立120周年を迎える歴史と伝統のある高等学校です。皆さんはその記念すべき年に入学した高校78期生になります。本校は、創立以来の教育方針として『質実剛健』『文武両道』を掲げ、校歌でも謳われている「自主の校風・自律の精神・自由の学園」を育んできました。卒業生は3万人を優に超え、あらゆる分野で、また世界中のいたるところで各界のリーダーとして活躍しています。

生徒たちは、『質実剛健』『文武両道』の伝統の下、「勉強とクラブの二兎を追い、極める」ことができるよう頑張っています。95%以上の生徒が部活動で活躍し、進路でも今春は、京都大学・大阪大学・神戸大学に合わせて63名、国公立大学には199名が合格しました。

本校入学に際し、皆さんに伝えたいことが2つあります。

1つは「思うは招く」という考え方を実践することです。「思うは招く」は、作家池井戸潤さんの『下町ロケット』のモデルともいわれている植松努さんの言葉です。植松さんは、現在、北海道で町工場を経営しながら宇宙開発をするという二刀流に取り組んでいます。

植松さんは、小さいころ、テレビでアポロ11号の月面着陸を一緒に見ていたおじいさんがとても喜んでいる姿を見て、宇宙に興味を持ちました。しかし、小学校や中学校の先生から「宇宙なんてよほど頭が良くないと無理だ。すごくお金もかかる。お前なんかにはできるわけがない。どうせ無理。」と散々言われたことにショックを受けます。植松さんは「どうせ無理」という言葉は、人間の自信と可能性を奪ってしまう最悪の言葉だと言います。そんな植松さんに、お母さんが「思うは招く」という言葉を教えてくれたそうです。思い続けたらできるようになるという意味です。植松さんは言います。

「僕らは今、生まれて初めての一回きりの人生をぶっつけ本番で生きているんです。失敗して当たり前です。失敗はより良くなるためのデータだと思って乗り越えてほしいです。失敗したら『ただいま成長中』って言えばいいのです。これから先僕らがやっていくべきこと

は「できない理由」を探すことではありません。「できる理由」を考えることです。今日から『どうせ無理』という言葉に出会ったとき、『だったらこうしてみたら？』って皆さんが言ってくれたら、いつか「どうせ無理」という言葉がなくなって、可能性が奪われない良い社会が来ると思っています。やったことがないことをやりたがる人、諦めない人、工夫する人、「どうせ無理」に負けない人が増えれば、これからの日本や世界はきっと良くなっていきます。」

皆さん、勉強においても、部活動においても思い続けるってとても大切です。暁高には「どうせ無理」という考え方は存在しません。皆さんには無限の可能性が 있습니다。そして、暁高には、生徒も教職員も一緒にみんなで協力して頑張ろうという伝統があります。そんな暁高での三年間、多様性を尊重し、優秀な同級生や先輩、後輩と個性をぶつけ合い、「思うは招く」の精神で何事にも全力でチャレンジしてください。そして、ワクワクしながら楽しんでください。

2つ目は「自己管理能力を鍛える」ということです。

暁高は学校満足度がとても高い高校ですが、生徒たちは、授業の予習や復習、部活動、行事に追われてとても忙しい毎日を送っています。そして、時には失敗しながら、今できることに最善を尽くすことで高いハードルを乗り越え成長しています。その中で、一番問われるのが「自己管理能力」です。例えば、皆さんが、最初の試験で、中学校の時のような成績が取れなくても心配する必要はありません。なぜなら、本当のゴールはずっと先にあるからです。失敗して挫折することも経験です。植松さんが言うように「ただいま成長中」と考えればいいのです。大切なのは、時間やメンタルをコントロールする「自己管理能力」を鍛えることです。自分の弱点と向き合い、目標を設定し、計画を立て、努力を継続してください。必ず道は開けます。

さあ、今日から皆さんは暁高78期生です。今、皆さんが感じている喜びや誇り、そして一抹の不安を、卒業の時には「暁高で学べて本当に良かった」と思える3年間にしてください。私たち教職員は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい可能性をさらに伸ばしていけるように全力でサポートしていきます。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点において、共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴らしいものになることを祈念して、式辞とします。

令和5年4月10日

大阪府立四條暁高等学校長 稲葉 剛